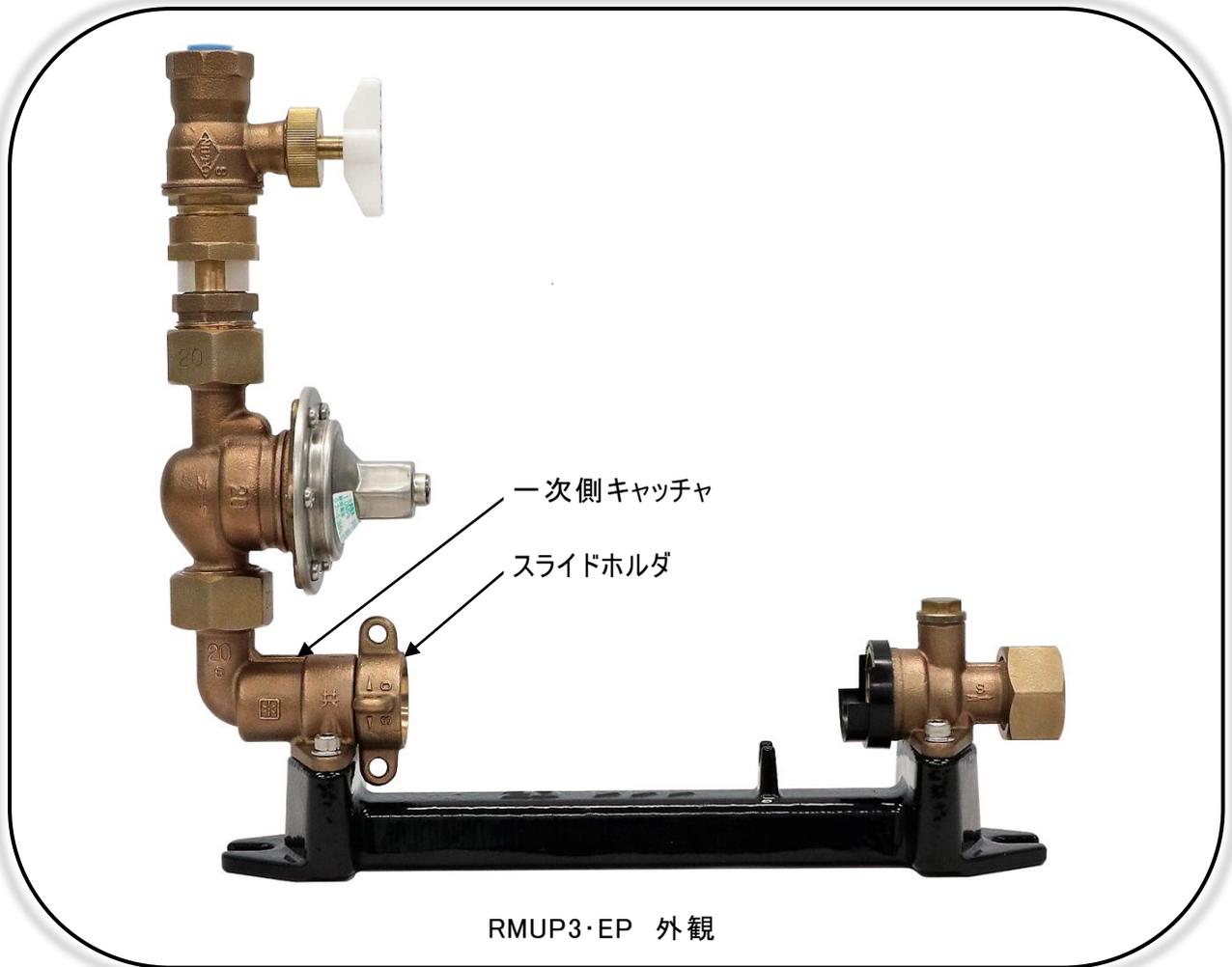


メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 D

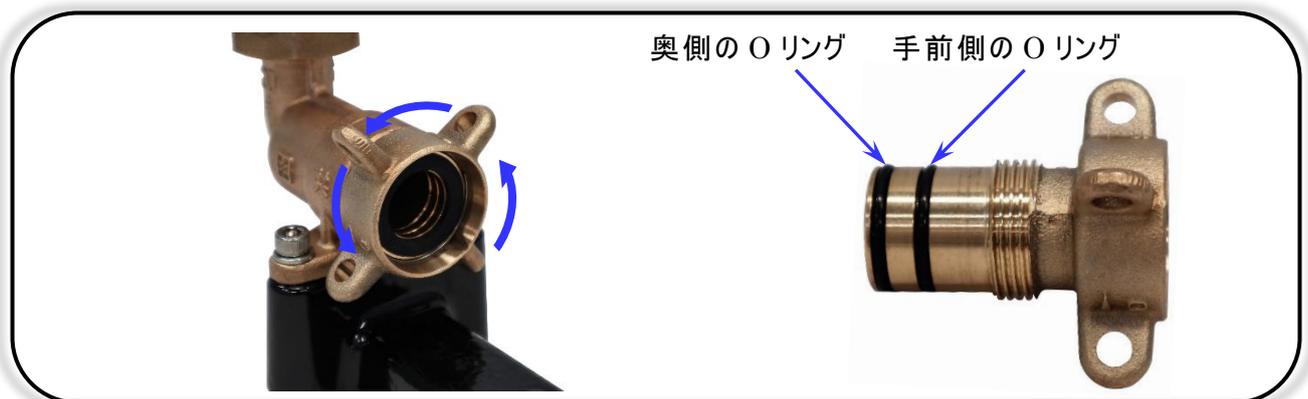
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP3・EP」で行っていますが、RMUP3・PK、RMUP3・OR、SMUP・EP、SMUP3・PK、SMUP3・ORも同様の手順で交換できます。

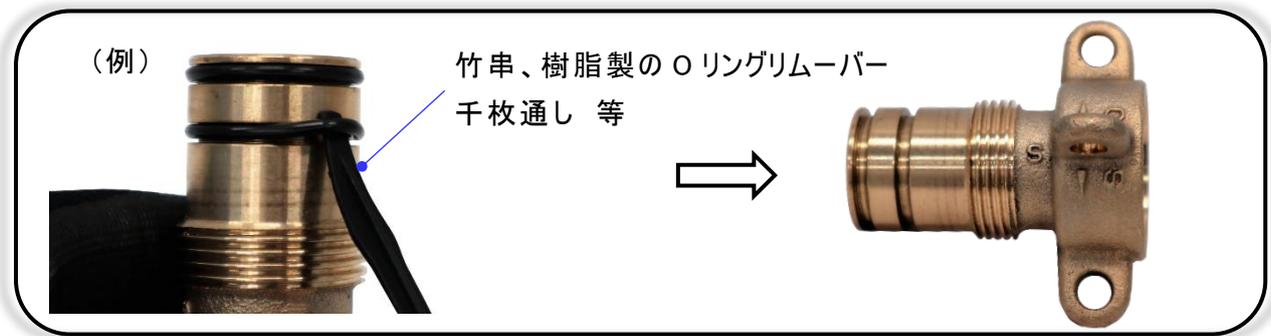


交換手順

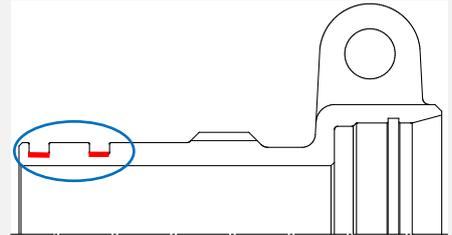
1. スライドホルダを矢印の方向へ回してねじの嵌合を外し、スライドホルダをゆっくり引き抜く。



2. 先端が尖っているものを用いて O リング(2 本)を外す。手前側の O リングから外すと外し易い。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中○印内の赤太線面に傷つかないように注意する。
 スライドホルダを落とさないように注意する。
 落として変形すると、作動不良や漏水の原因になります。



(注) O リング止水面に付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等で)拭き取ってください。

3. 新しい O リング(2 本)にシリコングリス(信越化学工業(株)製 KS-65A 相当)を塗り、O リング溝に入れて指でなぞりながら入れ込む。
 奥側の O リングから入れると、入れ易い。

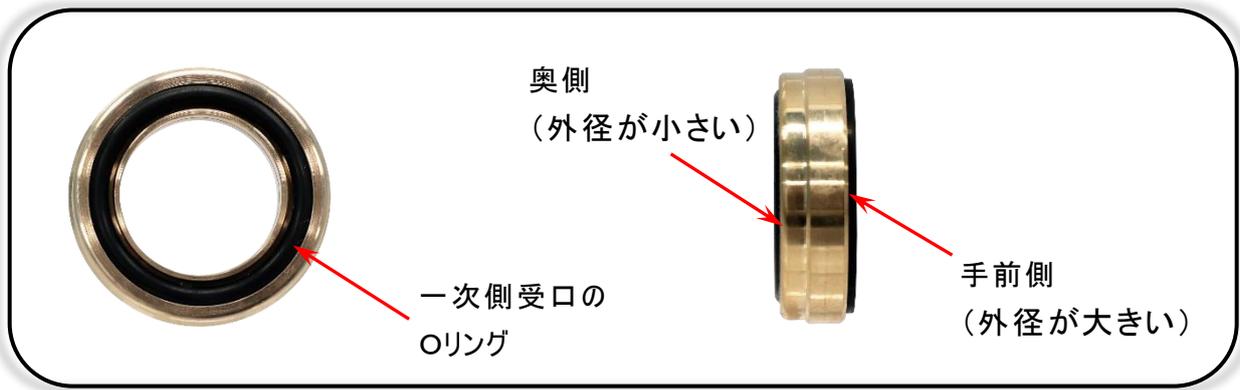
呼び径	規格	呼び番号
13,13L	JIS B2401-1	P-16
	JASO F404	2016
20	JASO F404	2023
25S,25	JASO F404	2030

4. 一次側受口部の O リング交換

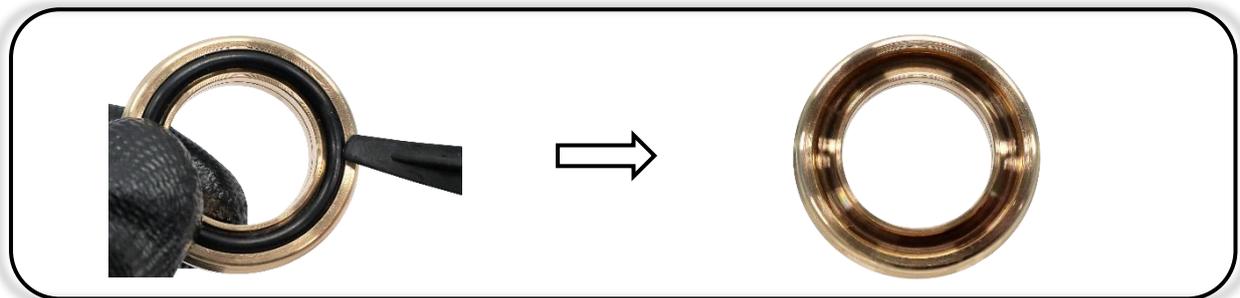
スライドホルダの止めリング取り外し溝に千枚通しやΦ1mm 程度の針金等を入れ、手前にこじるようにして止めリングを外す。



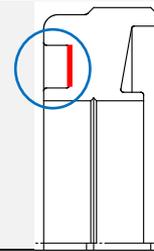
5. 一次側受口の通水部に指を入れて、スライドホルダから一次側受口を引き抜く。



6. スライドホルダの O リングと同様に、先端が尖っているものを用いて O リングを外す



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
 ○印内の**赤太線面**に傷つかないように注意する。
 一次側受口を落とさないように注意する。
 落として変形すると、作動不良や漏水の原因になります。



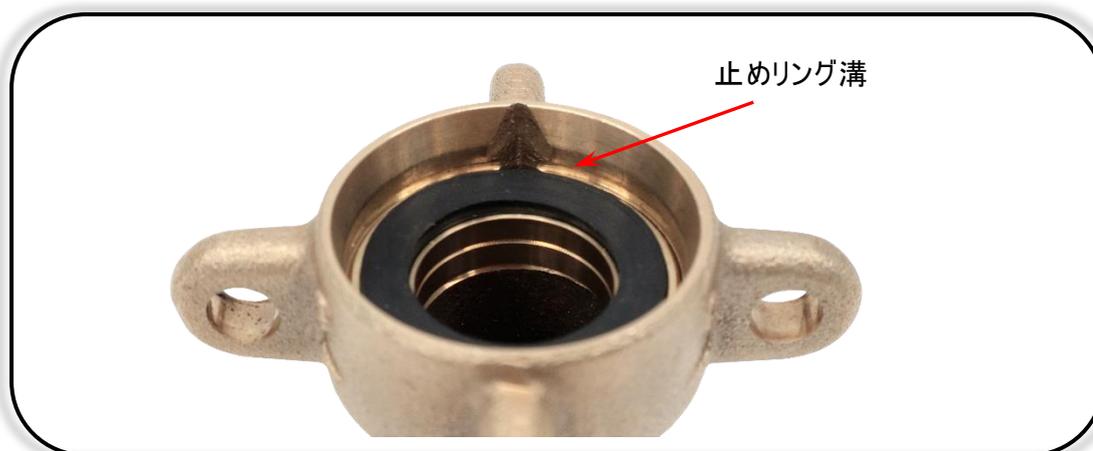
(注) O リング止水面に付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等で)拭き取ってください。

7. 新しい O リングにシリコングリス(信越化学工業(株)製 KS-65A 相当)を塗り、O リング溝に入れて指でなぞりながら入れ込む。

スライドホルダの O リングと共通サイズです。

呼び径	規格	呼び番号
13,13L	JIS B2401-1	P-16
	JASO F404	2016
20	JASO F404	2023
25S,25	JASO F404	2030

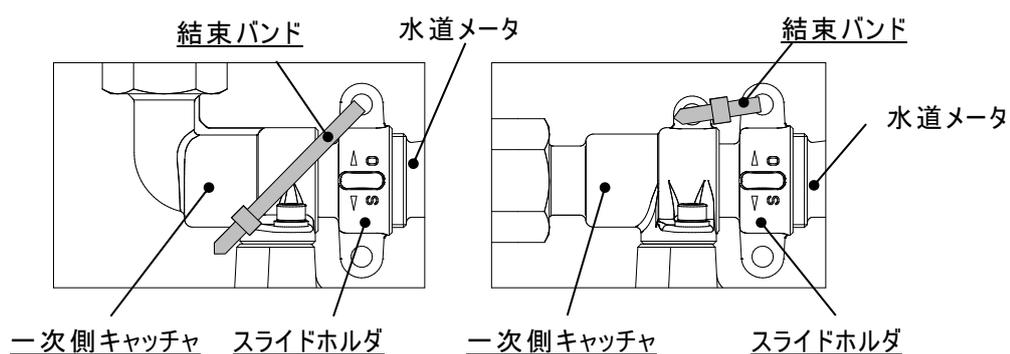
8. 一次側受口を外したときとは逆の手順で、小径側をスライドホルダに真っすぐ奥まで入れ、止めリングを止めリング溝に入れる。



9. スライドホルダを外したときとは逆の手順で、スライドホルダの O リングが一次側キャッチャの内ねじ部に接触して傷つかないように、慎重にスライドホルダを一次側キャッチャにはめ込み、ねじが嵌合したら手順 1 とは反対方向にスライドホルダを手で回し、止まるまでねじ込んで完了。

呼び径	スライドホルダ目安締付トルク N・m
13	6
20	8
25	10

⚠ メータ長期圧着時は緩み防止として、スライドホルダを締める方向(「S」の矢印の方向)に、一次側キャッチャとスライドホルダを結束バンドで結んでください。



メータ長期圧着時 結束例

※スライド部 O リングの交換時期は、メータユニット設置後 10 年 を超えた初回のメーター交換時を推奨します